

単元指導計画 第3学年「ぼうグラフと表」全8時間

小単元	整理のしかた	ぼうグラフの読み方		
時数	1	2	3 (本時)	
ねらい	種類に分けて数量を調べる活動を通して、「正」の字を使った数え方のよさを理解し、落ちや重なりなく表に表して整理することができる。	棒グラフのしくみを知り、それを読み取ることができる。また、棒グラフで表すよさについて理解することができる。	表し方の違う棒グラフを読み取る活動を通して、順番の違いや、目盛りの表記の違い、1目盛りの大きさの違いを見つけ、棒グラフの工夫を知ることができる。	1目盛りの大きさが1でない棒グラフや、横向きの棒グラフを読み取ることができる。また、時系列の順に表した棒グラフのよさを理解することができる。
見方・考え方	資料を表にまとめると特徴が分かりやすいことに気付く。	表と棒グラフを比較して、棒グラフの方が棒の高さだけで大きさを見ることができるということに気付く。	様々な棒グラフを比較することで、棒グラフは目的に応じて様々な表し方があることを知り、それぞれよさに気付く。	横向きの棒グラフを読み取ることで、時系列順に表すことのよさに気付く。
指導過程	<p>1. 問題提示</p> <p>しせつほうもんをしたときに、何をして遊ぶかをクラスで決めます。そこで、クラス全員に、遊びたいことを1人1つずつカードに書いてもらいました。クラスから出た遊びのしゅるいと人数を、表に整理しましょう。</p> <p>「正」の字を使って調べて、表に整理してみよう。</p> <p>2. 課題設定</p> <p>「正」の字を使ってまとめ、数字になおして表にまとめよう。</p> <p>3. 表にまとめる</p> <p>教師がカードを読み上げて、どの遊びがいくつあるか調べる。</p> <p>「正」の字を数字になおす。人数の少ないものは、まとめて「その他」と表すことを知る。</p> <p>4. 個人追究</p> <p>「正」の字を使うことのよさを考える。どんどん数えられる。何がいくつなのかはわかりづらい。</p> <p>5. 全体交流</p> <p>6. まとめ</p> <p>「正」の字を使うと、どんどん数えられる。表は数の大きさが分かりやすい。</p> <p>7. 練習問題</p> <p>表の読み取り</p>	<p>1. 前時の復習</p> <p>「正」の字を使って表にまとめる。</p> <p>2. 問題提示</p> <p>しょうたさんは、表を右のようなぼうグラフに表しました。次のことを調べましょう。</p> <p>ぼうグラフという言葉をおさえる。ぼうグラフにはどんなことが書かれているかをあげる。</p> <p>3. 課題設定</p> <p>ぼうグラフのしくみを知り、よさを見つけよう。</p> <p>4. 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼうの長さは、それぞれの遊びを選んだ人の数を表している。 1めもりは1人を表している。 いちばん多い遊びと人数を調べる。 <p>5. 全体交流</p> <p>ぼうグラフを見て、分かったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> あやとりが1番多い 2番目がけんだま <p>しょうたさんは、どうして棒グラフ表したのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 棒グラフの方が、多い少ないがぱっと見て分かるから。 <p>6. まとめ</p> <p>ぼうグラフに表すと、ぱっと見て数の多い少ないが分かりやすい。</p>	<p>1. 前時の復習</p> <p>2. 問題提示</p> <p>ゆいさんは右のようなぼうグラフに表しました。どのような工夫をしたのでしょうか。</p> <p>3. 課題設定</p> <p>ゆいさんの工夫を見つけよう</p> <p>4. 個人追究</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類を多い順に並べ替えている。 目盛りをカットして、5とびにしている。 少集団交流 全体交流 <p>ゆいさんはどうしてこれらの工夫をしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすくするため。見やすくするため。 <p>7. 深めの問題</p> <p>まりさんは「しせつで遊びたいこと」を次のようなぼうグラフに表しました。まりさんのぼうグラフを見て、気付いたことを言きましょう。</p> <p>③ 1目盛りが1じゃなくても表すことができる。</p> <p>8. まとめ</p> <p>ぼうグラフの工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> しゅるいのじゅんばんをかえてもよい。 めもりをカットしてもよい。 1めもりの大きさは1じゃなくてもよい。 	<p>1. 問題提示</p> <p>次のぼうグラフは、なおさんが月曜日から日曜日までに家で勉強した時間を表したものです。このぼうグラフを見て答えましょう。</p> <p>前時までの棒グラフとの違いを見つける。棒グラフが横向きである。</p> <p>2. 課題設定</p> <p>よこむきのぼうグラフについて考えよう。</p> <p>3. 個人追究</p> <p>棒グラフから分かることを書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 土曜日にいちばん長く勉強している。 毎日30分は勉強している。 <p>4. 深めの発問</p> <p>このぼうグラフは、曜日を勉強した時間が長いじゅんにならべかえていません。なぜでしょう。ゆいさんののぼうグラフとくらべてかんがえましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 曜日の順に表したほうが1週間の流れがよく分かる。 遊びは特に順番がないから大きい順で表した方が分かりやすい。 <p>5. まとめ</p> <p>何を表したいかによって、ぼうグラフの形がかわることがある。</p>
評価規準	調べる際に分類整理するよさを感じて、進んで処理している。【関心・意欲・態度】	棒グラフのしくみや読み方について理解している。【知識・理解】	ぼうグラフの表し方の違いに気付き、それぞれの表し方のよさについて考えることができる【数学的な考え方】	横向きの棒グラフや、項目が時系列の順に並べられた棒グラフの読み方や、そのよさを理解している。【知識・理解】
見届けの視点	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの合計がカードの枚数と一致することを確認する。 その他で表す内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1目盛りがどこを表しているか確認する。 棒の長さを見るときどこの目盛りを見るか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 項目と数値を確認してすべての棒グラフが同じことを表していることを確認する。 それぞれのグラフで何が分かりやすいか考え、そのグラフのよさを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1目盛りの大きさや横向きなど違いを確認する。 曜日の順に並べるよさについて考えさせる。
指導援助	<ul style="list-style-type: none"> 教師が資料を読み上げることで、「正」の字の良さを実感させる。 合計が30にならないときは、数え方にミスがあることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 棒グラフが何を表し、どんなグラフなのかを丁寧におさえる。 拡大したグラフを準備し、どこを見ればよいか明確にする。 表と比較することで、棒グラフのよさに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 棒グラフのプリントを児童に配付し、大きさなどを実感できるようにする。 違いを明確にさせて、どこに注目して考えればよいかを明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1目盛りの大きさを実際に数えて確認する。 曜日の順に並べるよさを考えてから、横向きで大きい順でないグラフがあることを知ることもできるようにする。

小単元	ぼうグラフのかき方	表のくふう	まとめの練習	算数たまたまこ
時数	5・6	7	8	9
ねらい	棒グラフの表し方を理解し、資料を見やすい棒グラフに表すことができる。	一次元の表をもとに二次元の表をつくり、資料の特徴を読み取ることができる。また、一次元の表と比較し、二次元の表のよさをとらえることができる。	既習内容を使って問題に取り組み、習熟することができる。	自分で調べたいことを決めて、調べたことを表や棒グラフに表す。
見方・考え方	これまでの学習をもとに目的に応じた棒グラフをかく。	3つの表をまとめた二次元の表を読み取ることで、二次元の表は数値の比較がしやすくなることに気付く。		表や棒グラフに表す活動を通して、分かりやすい棒グラフのかき方について考える。
指導過程	<p>1. 問題提示</p> <p>右の表は、さち子さんの家で1週間に出たしげんごみのうち、飲み物のようきを調べ、数をしゅるいべつに表したものです。下のぼうグラフのつづきを書きましょう。</p> <p>2. 課題設定</p> <p>ぼうグラフがかけられるようになろう。</p> <p>3. ぼうグラフのかき方</p> <p>①横軸に種類の多い順に書く。その他は最後に書く。</p> <p>②一番多い数を表す棒がかけられるように、縦軸の1目盛りの数を決める。</p> <p>③目盛りの表す数と単位を書く。</p> <p>④数を表す棒を書く。</p> <p>⑤表題を書く。</p> <p>4. 問題2提示</p> <p>1目盛りが2個を表すグラフを書く。棒の先端が目盛りの中間になる場合があることを知る。</p> <p>5. まとめ</p> <p>①数の多いじゅんにかく。その他は最後</p> <p>②1目盛りの数を決める</p> <p>③縦軸の目盛りと単位を書く</p> <p>④棒を書く</p> <p>⑤表題を書く</p> <p>6. 練習問題</p> <p>表から棒グラフをかく。</p>	<p>1. 問題提示</p> <p>次の表は、3年生がすきなきゅう食を1人1つずつえらんで、組べつにまとめたものです。この表を見て答えましょう。</p> <p>合計の欄を埋めてみる。</p> <p>それぞれの組でいちばん人気の給食を見つめる。</p> <p>3年生全体でいちばん人気の給食は何か考える。</p> <p>3つの表をまとめた表を提示する</p> <p>2. 課題提示</p> <p>3つの表をまとめると、どんなことが分かりやすくなるだろう。</p> <p>3. 全体追究</p> <p>表の空欄を埋め、それぞれ何を表しているか考える。</p> <p>4. 個人追究</p> <p>3つの表を1つにまとめると、どんなことが分かりやすくなったか考える。</p> <p>5. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生全体でもカレーがいちばん人気 ・2番目に人気なのはあげばん ・やきそばを好きな人のうち半分は2組 <p>6. まとめ</p> <p>3つの表を1つにまとめることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年でどんな給食が人気か分かる ・学年全体と同時にクラス別の人気も分かる ・クラス同士や、学年全体とクラスの人気を比べやすい。 	<p>1. 課題提示</p> <p>習ったことを使って、問題練習をしよう。</p> <p>2. 問題演習</p> <p>①棒グラフの読み方</p> <p>5目盛りで10人であることから、1目盛り2人であることが考えられるようにする。</p> <p>②1目盛りが表している大きさと棒グラフが表している大きさ</p> <p>1目盛りの大きさを読み取り、棒の大きさを考える。</p> <p>③棒グラフのかき方</p> <p>棒グラフのかき方の学習を振り返り、手順にそってかくことができるようにする。</p> <p>④二次元の表の読み方、合計の求め方</p> <p>3年生全体の合計は、町ごとの合計欄から求める場合と、クラスごとの合計欄から求める場合の両方で計算させ、正しいか確かめるようにする。</p>	<p>1. 課題提示</p> <p>調べたことを表やグラフにまとめよう。</p> <p>2. 表に表す。</p> <p>集めた資料を表にまとめる。</p> <p>「正」の字を使って資料の数値を調べる。</p> <p>3. 棒グラフに表す</p> <p>表にまとめたものを棒グラフに表す。</p> <p>第5・6時で学習した棒グラフの書き方の手順を参考にしながら棒グラフにかき表す。</p> <p>順番や、目盛りの表記、1目盛りの大きさも自分が見やすいと思う形に工夫して表すことができるようにする。</p> <p>4. 交流</p> <p>自分のかいたグラフや表を仲間同士交流する。</p> <p>5. 振り返り</p> <p>どんなことに注意をして表やグラフをかいたかなど感想を書く。</p>
評価規準	資料をもとにして、棒グラフを書くことができる。【技能】	資料を二次元の表にまとめ、そこから資料の特徴を考察している。【数学的な考え方】	棒グラフを正しく読み取ったり、表したりすることができる。【知識・理解】	調べたいことを自ら考え、調べた結果を表や棒グラフに表そうと意欲をもって取り組んでいる。【関心・意欲・態度】
見届けの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフどうしがくつつかないよう、たての線から1マスあいていることを確認する。 ・1目盛りの大きさがマス目や紙の大きさに合わせて考えることができているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦の合計と横の合計が一致しない場合は、縦か横の項目に間違いがあることを確認する。 ・合計によって間違いの確認ができることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返らせながら指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時や第5・6時で学習したことを振り返らせながら指導する。
指導援助	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は全体で手順をひとつひとつ確認しながら、同じペースでグラフをかくようにする。また途中の段階でとなりの児童と正しくかけているか確認を行うようにする。 ・1目盛りの大きさは様々な場合を考え適切な数値に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの表からでは、学年でいちばん人気の給食が分かりづらいことから、1つの表にまとめるよさを考えられるようにする。 ・空欄を埋めるときどこの数値が注目するポイントを示すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのペースに合わせて問題を解かせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に調べたいことを児童からださせて、資料を準備しておく。 ・かくことが難しい児童には、表やグラフの枠を準備して手順に沿ってかくことができるようにする。

小単元	算数たまたばこ
時数	10
ねらい	身近な事象について、表された表やグラフを活用して資料を完成させ、その資料の特徴を読み取る。
見方・考え方	表や棒グラフを読み取る活動を通して、資料に表されている内容について読み取る。
指導過程	<p>1. 問題提示</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>たかしさんは、3年生全員に遊園地のすきな乗り物を1つずつ書いてもらい、表やグラフに整理しています。</p> </div> <p>同じ資料が、二次元の表と棒グラフに表されていることを確認する。</p> <p>2. 課題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表やぼうグラフに整理して、何が分かるか読みとろう。</p> </div> <p>3. 個人追究 表と棒グラフの空欄に当てはまる言葉や数を考える。 どこからその言葉や数が分かるか、答えたわけも考えさせる。</p> <p>4. 小集団交流</p> <p>5. 全体交流</p> <p>6. 資料の読み取り 表と棒グラフをみて、言っていることが正しいか正しくないかを判断する。 それぞれの根拠も児童に考えさせる。</p> <p>7. まとめ まとめた表や棒グラフから分かることや気付いたことをノートにまとめる。</p>
評価規準	資料を表や棒グラフに表して、その意味や特徴を読み取ることができる。【数学的な考え方】
見届けの視点	・同じ資料が表と棒グラフにまとめられていることをおさえて、どこが一致しているかを確認する。
指導援助	・資料の読み取りでは、実際の表と棒グラフを確かめて正しいか判断できるようにする。